

平成27年横浜港の港勢

入港船舶

		単位	27年	前年比	構成比	26年	前年比	構成比
総数	隻数	隻	35,979	99.4	100.0	36,187	96.0	100.0
	総トン数	総トン	284,555,233	102.8	100.0	276,721,196	102.0	100.0
外航船	隻数	隻	9,865	100.0	27.4	9,863	98.9	27.3
	総トン数	総トン	241,660,331	103.1	84.9	234,485,541	102.8	84.7
うち フルコンテナ船	隻数	隻	4,584	100.8	46.5	4,547	94.9	46.1
	総トン数	総トン	114,692,117	101.6	47.5	112,866,554	97.4	48.1
内航船	隻数	隻	26,114	99.2	72.6	26,324	94.9	72.7
	総トン数	総トン	42,894,902	101.6	15.1	42,235,655	97.6	15.3

海上出入貨物

		単位	27年	前年比	構成比	26年	前年比	構成比
総数	貨物量	トン	114,741,049	98.1	100.0	117,014,290	98.2	100.0
	うちコンテナ貨物量	トン	39,358,350	96.3	34.3	40,861,065	97.2	34.9
	コンテナ個数	TEU	2,787,296	96.8	100.0	2,880,029	99.7	100.0
外貨	計	トン	74,488,202	101.1	64.9	73,695,858	99.0	63.0
	輸出	トン	31,591,035	101.4	27.5	31,141,288	99.0	26.6
	輸入	トン	42,897,167	100.8	37.4	42,554,570	99.1	36.4
うち コンテナ貨物	計	トン	36,833,692	95.5	49.4	38,575,628	97.6	52.3
	輸出	トン	15,031,741	92.2	47.6	16,303,643	93.4	52.4
	輸入	トン	21,801,951	97.9	50.8	22,271,985	100.9	52.3
コンテナ個数	計	TEU	2,513,511	96.2	90.2	2,611,771	100.9	90.7
	輸出	TEU	1,330,019	95.6	47.7	1,391,042	100.2	48.3
	輸入	TEU	1,183,493	96.9	42.5	1,220,730	101.8	42.4
内貨	計	トン	40,252,847	92.9	35.1	43,318,432	96.8	37.0
	移出	トン	16,307,751	93.4	14.2	17,462,551	97.9	14.9
	移入	トン	23,945,096	92.6	20.9	25,855,881	96.1	22.1
うち コンテナ貨物	計	トン	2,524,658	110.5	6.3	2,285,437	90.2	5.3
	移出	トン	1,407,596	115.7	8.6	1,216,953	89.3	7.0
	移入	トン	1,117,062	104.5	4.7	1,068,484	91.2	4.1
コンテナ個数	計	TEU	273,785	102.1	9.8	268,258	89.4	9.3
	移出	TEU	113,698	110.3	4.1	103,097	89.8	3.6
	移入	TEU	160,087	96.9	5.7	165,161	89.1	5.7

(注) コンテナ個数は、実入・空の合計。

「うちコンテナ貨物」の構成比は、外貨又は内貨の貨物量に占めるコンテナ貨物の割合。

貿易額

		単位	27年	前年比	構成比	26年	前年比	構成比
合計		百万円	12,153,948	103.6	100.0	11,734,937	107.4	100.0
輸出		百万円	7,531,005	105.8	62.0	7,117,710	105.5	60.7
輸入		百万円	4,622,943	100.1	38.0	4,617,227	110.6	39.3

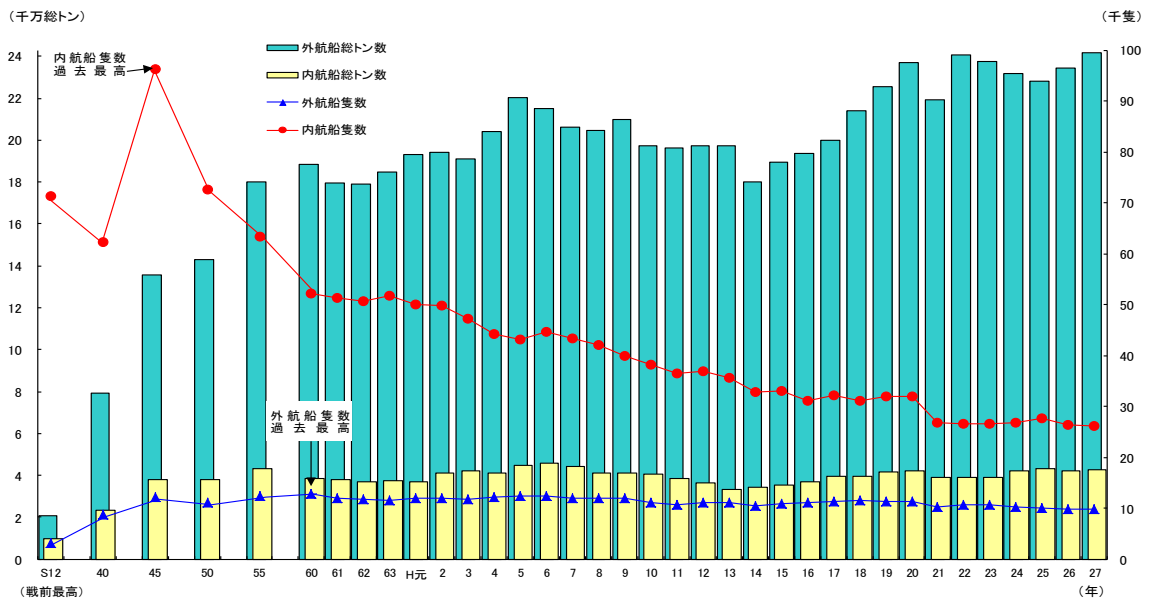
(注) 横浜税関資料による(確定値)。

平成27年の横浜港の総貨物量は、1億1,474万トン（前年比1.9%減）で、前年に比べ微減となりました。外貨貨物は、輸出3,159万トン（1.4%増）、輸入4,290万トン（0.8%増）といずれも増加に転じ、なかでも輸出の中核をなす完成自動車は前年比10.2%増と好調に推移しました。また、内貨貨物は移出1,631万トン（6.6%減）、移入2,395万トン（7.4%減）といずれも減少となりました。コンテナ取扱個数は、外貨・内貨合計で279万TEU（3.2%減）となりました。

1 入港船舶 【P 9】

入港隻数は外航・内航合計で3万5,979隻（前年比0.6%減、以下増減%は前年比）と微減となりました。総トン数は2億8,456万総トン（2.8%増）と、2年連続の増加で過去最高となりました。

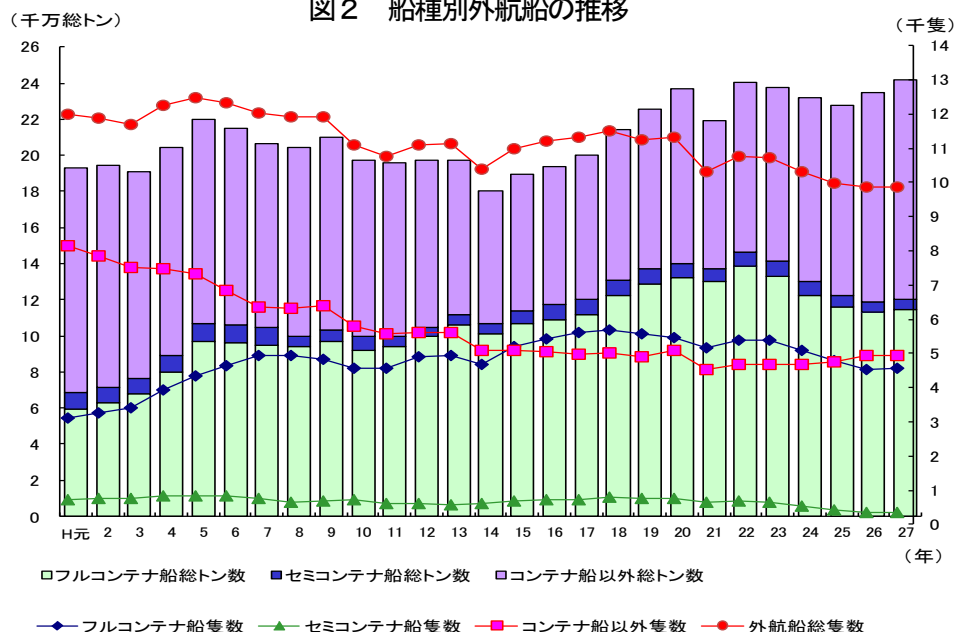
図1 入港船舶の推移



外航船の入港隻数は9,865隻（0.0%増）、総トン数は2億4,166万総トン（3.1%増）と過去最高となりました。このうちフルコンテナ船は4,584隻（0.8%増）、総トン数は1億1,469万総トン（1.6%増）となっています。

内航船の入港隻数は2万6,114隻（0.8%減）、総トン数は4,289万総トン（1.6%増）となりました。

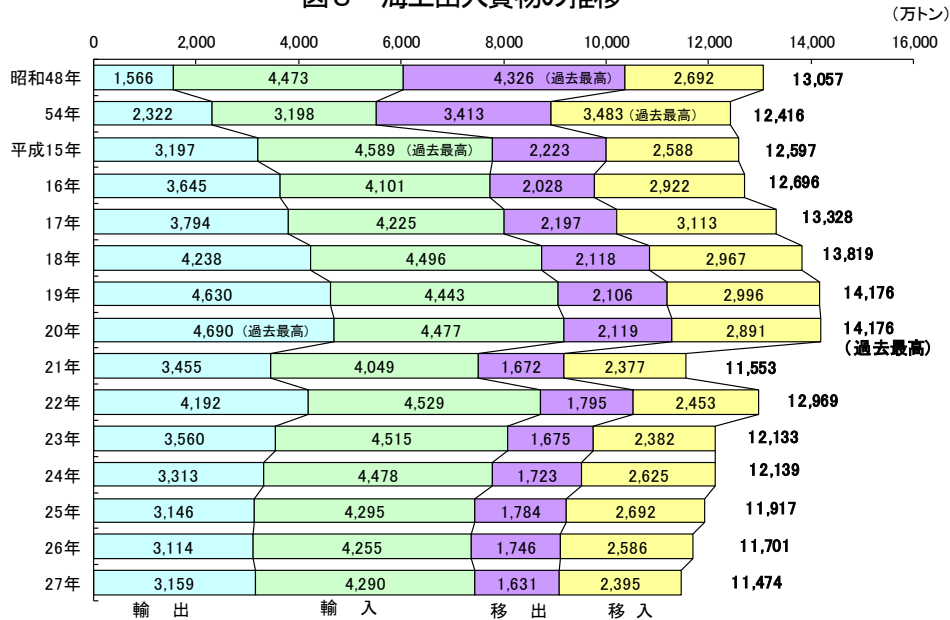
図2 船種別外航船の推移



2 海上出入貨物

- (1) 総貨物量 … 昨年に引き続き減少、外貿は5年ぶりの増加、内貿は2年連続の減少 【P14、15】
 総貨物量は1億1,474万トン(1.9%減)で、そのうち外貿貨物量(輸出・輸入)は7,449万トン(1.1%増)、内貿貨物量(移出・移入)は4,025万トン(7.1%減)となりました。

図3 海上出入貨物の推移



- (2) 輸出貨物 … 前年比1.4%増で5年ぶりの増加 【P14~16】

輸出貨物量は3,159万トン(1.4%増)で、5年ぶりに増加に転じました。

品種別では完成自動車が10.2%増の1,319万トンと2年連続で増加し、産業機械も5.3%増の284万トンと2年連続で増加しています。

国別では、第1位の中国が、石油製品などが増加し、519万トン(0.7%増)と5年ぶりに増加しました。また、完成自動車の取扱いが増加したオーストラリア(178万トン、22.7%増)とサウジアラビア(148万トン、18.7%増)が、それぞれ第3位、第4位となっています。

図4 主要品種別輸出貨物

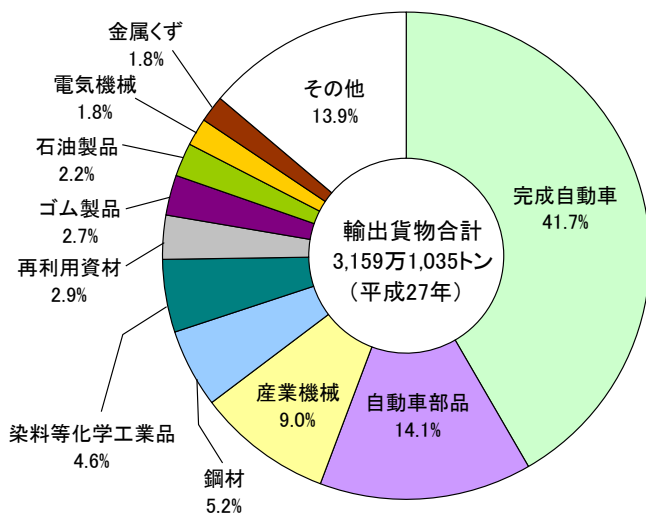
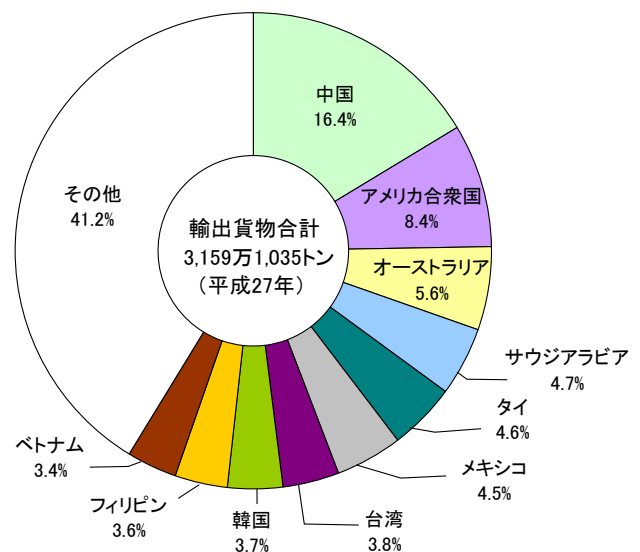


図5 主要国別輸出貨物



(3) 輸入貨物 … 前年比0.8%増で5年ぶりの増加【P14～16】

輸入貨物量は4,290万トン（0.8%増）で、輸出とともに5年ぶりの増加となりました。

品種別では、第2位の原油が29.0%増の609万トンと2年連続で増加し、第5位の石炭も34.0%増の137万トンと3年ぶりに増加しています。

国別では、第2位のオーストラリアが、LNGや石炭などの増加により623万トン（15.1%増、構成比14.5%）、第3位のサウジアラビアが、原油などの増加により480万トン（31.9%増、構成比11.2%）と、いずれも前年を上回りました。

図6 主要品種別輸入貨物

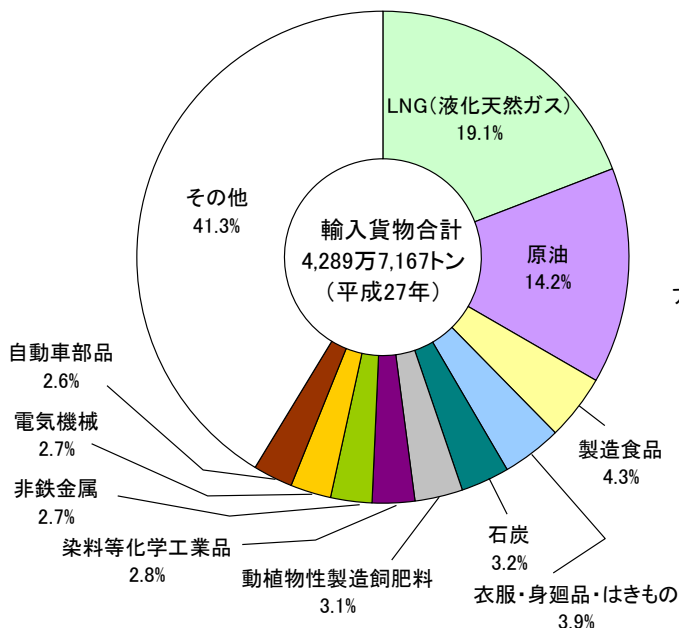
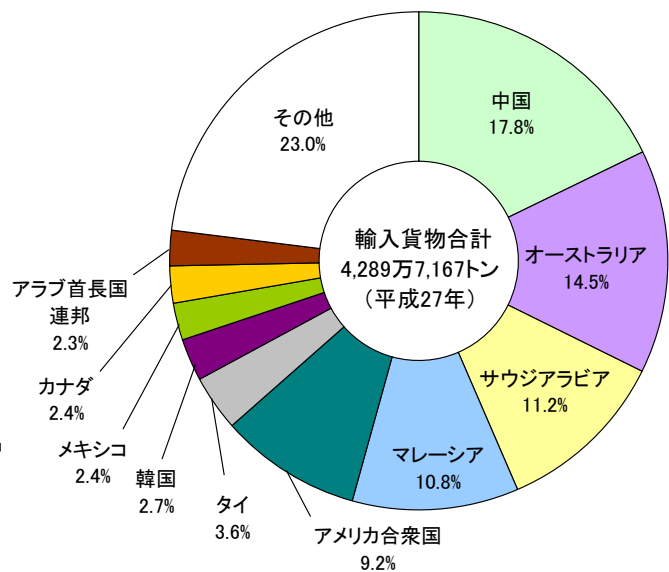


図7 主要国別輸入貨物



(4) 内貿貨物 【P14、15、18】

移出入貨物量合計は4,025万トン（7.1%減）で、2年連続の減少となりました。

品種別では、移出第1位の「石油製品」は480万トン（21.4%増、構成比29.5%）、移入第1位の「原油」は902万トン（6.6%減、構成比37.7%）となっています。

港別では、移出第1位の千葉港は322万トン（3.9%減、構成比19.8%）で「石油製品」の取扱いが最も多く、移入第1位の喜入港は902万トン（6.6%減、構成比37.7%）で「原油」のみの取扱いとなっています。

図8 主要品種別移出貨物

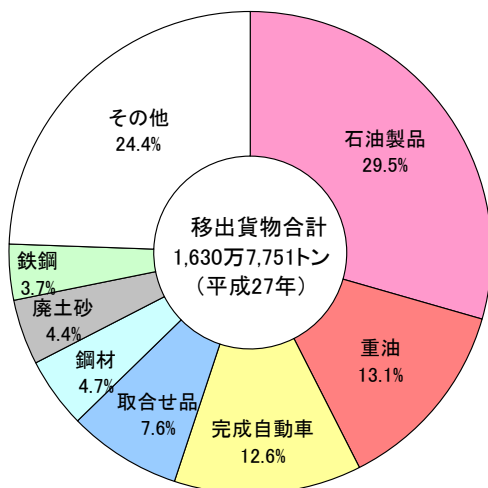


図9 主要港別移出貨物

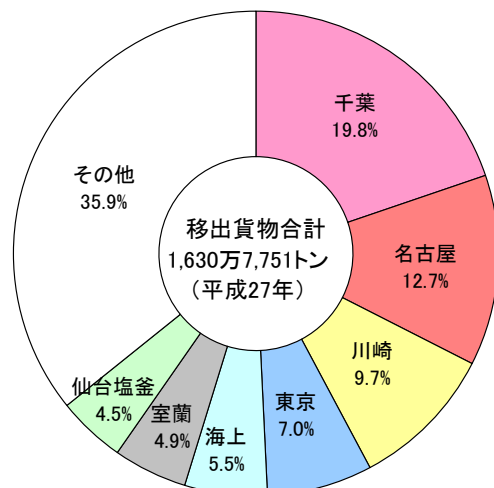


図10 主要品種別移入貨物

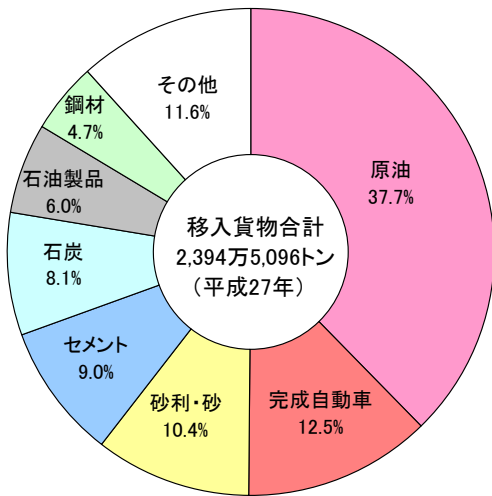
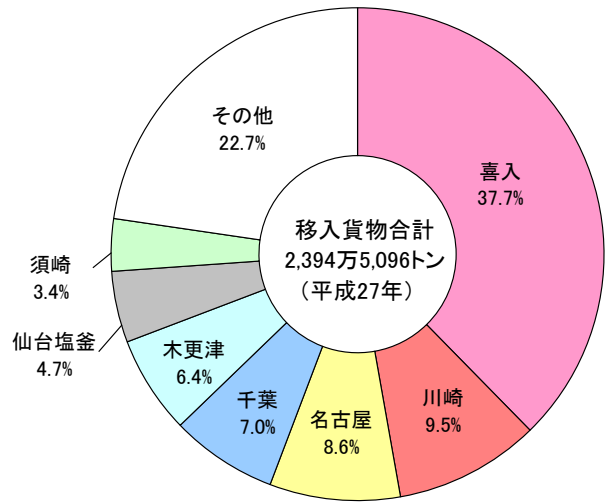


図11 主要港別移入貨物



(5) コンテナ貨物 【P14、15、25】

外貨コンテナ貨物量は、輸出が1,503万トン(7.8%減)、輸入が2,180万トン(2.1%減)、輸出・輸入合計では3,683万トン(4.5%減)で、5年連続の減少となりました。

外貨貨物全体に占めるコンテナ貨物の割合は49.4%となっています。

図12 外貨貨物量の推移

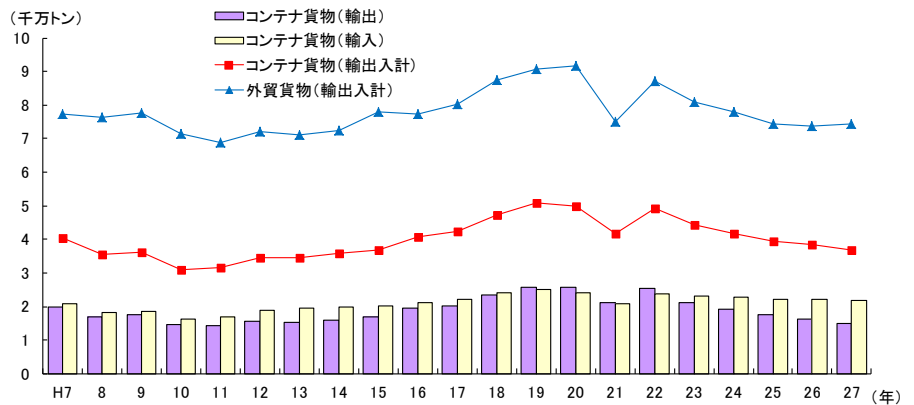
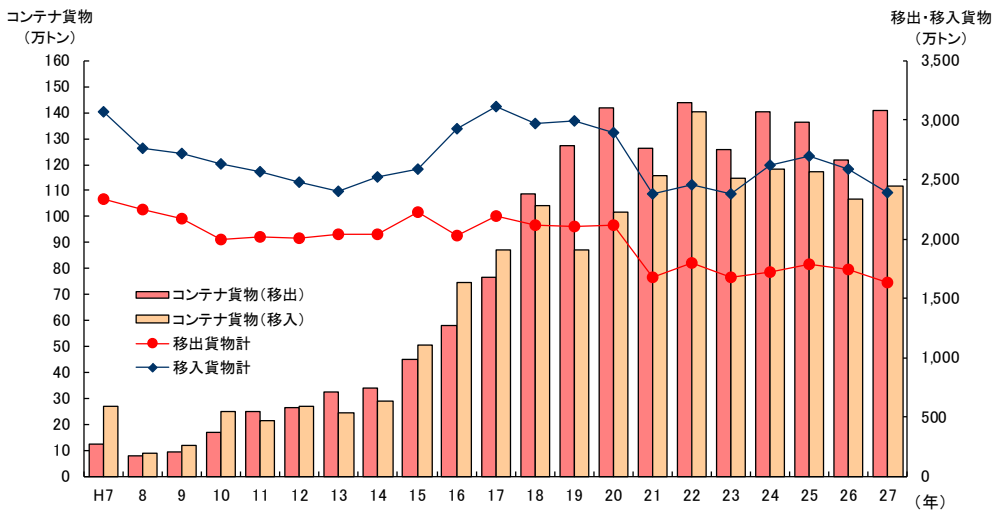


図13 内貨貨物量の推移

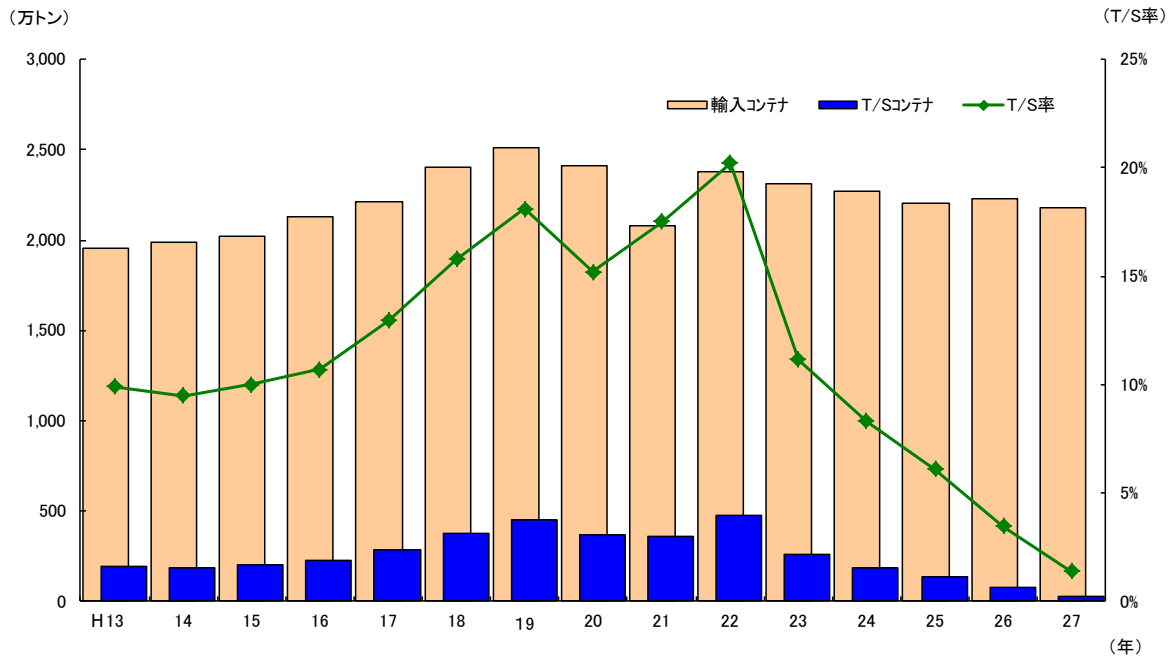


内貨コンテナ貨物量は、移出が141万トン(15.7%増)、移入が112万トン(4.5%増)、移出・移入合計では252万トン(10.5%増)で、3年ぶりの増加となりました。

(6) トランシップコンテナ貨物 【P26】

輸入コンテナ貨物のうち、横浜港で積み替えたトランシップコンテナ貨物量は31万トン、トランシップ率は1.4%で、5年連続の減少となりました。

図14 トランシップコンテナ貨物の推移



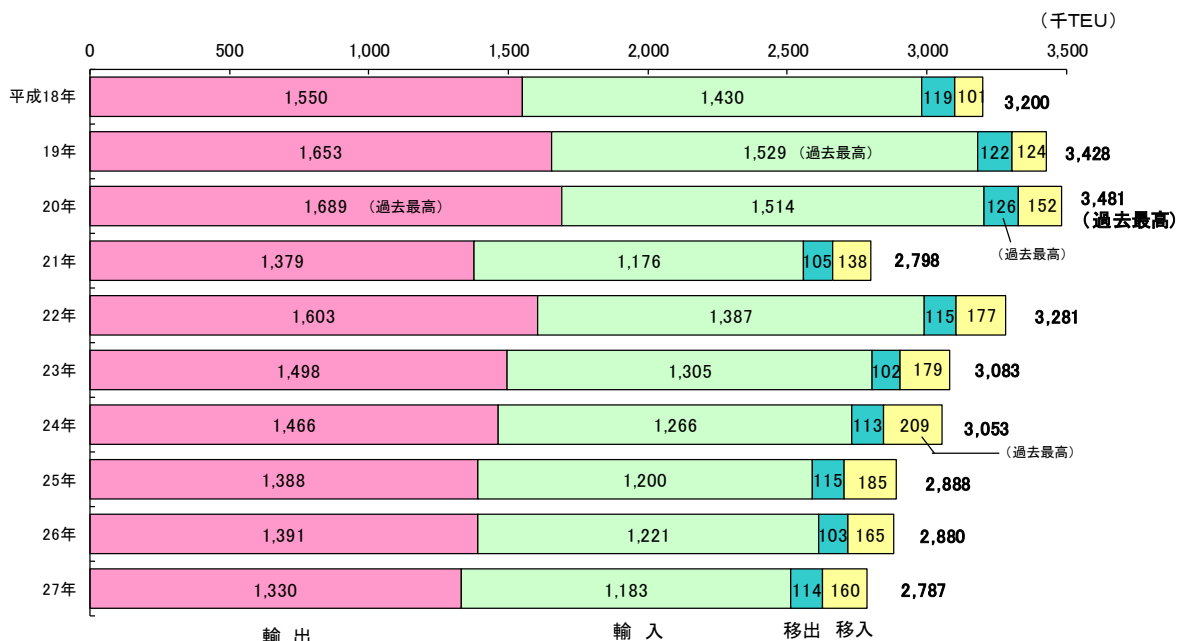
(7) コンテナ個数 … 279万TEUで前年比3.2%減、内貿は3年ぶりの増加【P20～25、P48】

外貿・内貿合計は279万TEU (3.2%減) となりました。

外貿コンテナ個数は、輸出が133万TEU (4.4%減) となり、ベトナム (26.6%増) などが前年を上回りましたが、中国 (10.6%減) やアメリカ合衆国 (30.0%減) などは前年を下回りました。輸入は118万TEU (3.1%減) で、オーストラリア (25.2%増) や、メキシコ (21.4%増) などが前年を大幅に上回りましたが、中国 (5.6%減) やアメリカ合衆国 (22.6%減) などは前年を下回りました。

内貿コンテナ個数は、移出が11万TEU (10.3%増)、移入が16万TEU (3.1%減)、移出・移入合計では27万TEU (2.1%増) で、3年ぶりの増加となりました。

図15 コンテナ個数の推移



横浜港のコンテナ取扱個数（279万TEU）は、東京港（463万TEU）に次いで16年連続で第2位となりました。主要5港では、神戸港を除く4港が前年の実績を下回りました。

図16 主要港別コンテナ個数

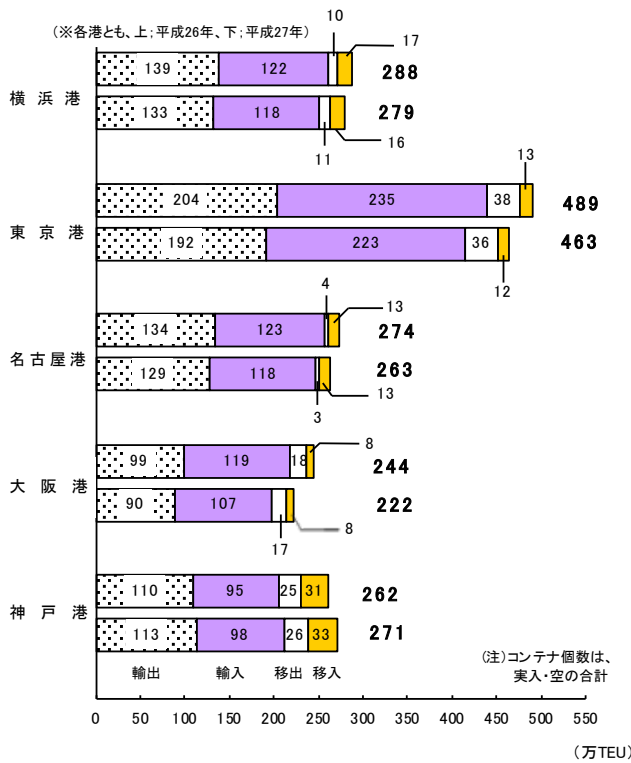
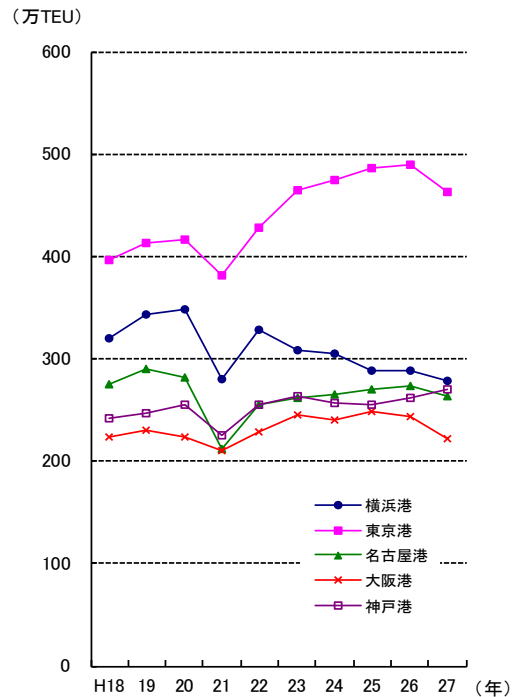


図17 主要港別コンテナ個数の推移



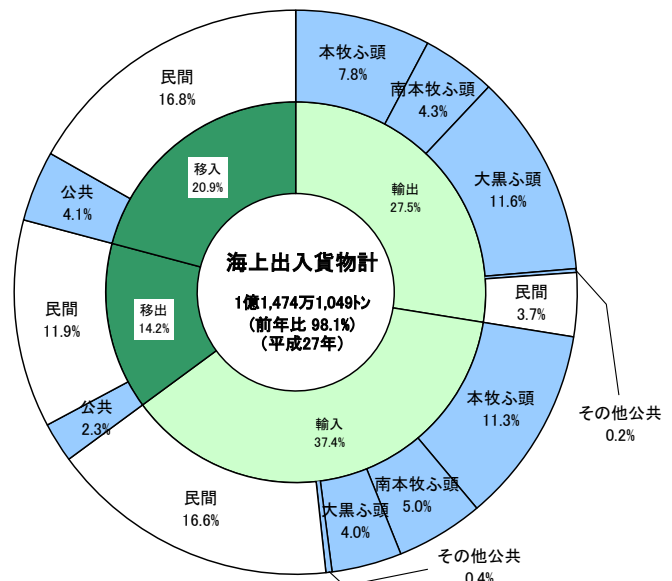
3 施設別取扱貨物量 【P28～30】

総貨物量1億1,474万トンに占める公共施設の取扱貨物量は5,849万トン（3.7%減、構成比51.0%）、民間施設は5,625万トン（0.1%減、構成比49.0%）となりました。

外貿貨物について、公共・民間別の割合をみると、公共施設での取扱量が5,122万トン（1.9%減、構成比68.8%）で、外貿貨物量の約7割を占めており、取扱第1位は「本牧ふ頭」の2,193万トン（2.7%減、構成比29.4%）となっています。

一方、内貿貨物についてみると、民間施設での取扱量が3,298万トン（5.2%減、構成比81.9%）で、内貿貨物量の約8割を占めています。

図18 施設別取扱貨物



※ 公共（本牧、南本牧、大黒、その他公共）は、横浜市及び横浜港埠頭株式会社が所有する施設。